

10月16日(日) 小田床天満宮の例大祭が厳かに行われました。前日に飾り付けをして終わった頃から雨が降り出し、夜中も雨、当日の天気予報も「雨」、天気を大変心配していましたが、天神さまのお力と皆さまの心が通じて、朝には雨が止み、昼にはお天道さまも顔を出していました。ここ数年、小田床天満宮の例大祭では、「雨が降らない」と言う伝説が実証されました。大江八幡宮の木下宮司さまと今年初めて禰宜さまをお迎えし、神事を執り行つて頂きました。

例年通り午前10時半に神事、11時に御立ち、今年は笛一人獅子舞いと大太鼓は昨年と同様に、新しく神輿に鬼海光典さん、行列に尾崎勝史さん、小太鼓打ちに中村隆寧さんが加わりました。道中を練り歩き、沿道の沢山の皆さまの応援、お賽銭を頂戴しながら、12時過ぎに御飯屋に到着、御祭神を囲んで楽しい昼食、禰宜さまに天神さまのお供のトンクを放流して頂きました。



小田床天満宮例大祭



小田床天満宮 氏子総代長 中村昭廣

行列等の練習を定期的に行つて伝承していきます。出郷者の皆さま、観光客の皆さま、ダイビングスクールの方々等のご協力を頂きながら、小田床天満宮の例大祭を執り行い続けたいと考えています。



小田床面白方言「シリーズ」⑤

昔、実家のちかたりの 三軒の家の話

① 忠アボという人が居りました。何でもキチンキチンとせんは好かん人で、子供が靴を揃えずに、かすくすりするもんなら、その靴をいしてみたらそれで、子供は靴は見つけさるきよったとか

② 裏の家の話

春先から秋口までこの家では雪を上げよったのです。元氣な男の子が四人居るもんじゃいけん、なんでんかんでんつっぽがしてしまっけんが、ふすまも障子も外し、家の中はほんほらほんでした。そんな中で毎日ドタンバタンと大騒動しよりました。

③ 橋んえの話

夏になると家の下の川で水遊びをする兄妹が居りました。水から上がってからそんま、まっばだかのままで遊び回り、汗じゅくに濡れた、まいた水に浸かりよりました。分りにくい方言、現在、地元の人も首をひねり解釈が分かれる言葉？ほんほらほん、となたかこ存じの方事務局までご連絡ください。

球技大会開催しました

10月10日に第49回球技大会が開催されました。又、朝から西天草分署により、住民総出の防災訓練も行われ、その後開会式、競技開始となりましたが、各ボールで大きな歓声や足を引っ張る様な声が聞こえたりと賑やかな大会でした。

又、優勝は去年に続き、佃浜区でしたが、来年は鬼海区、中央区には是非、雪辱を果たしてもらいたいと思います。

各個人表彰を受けられた方、そうでない人も来年はスコアアップを目指して頑張ってください。



優 勝	………佃浜区
準優勝	………中央区
3 位	………鬼海区
MVP賞	………男性 尾崎 軍勇 32打
	女性 濱崎マユミ 41打
2 位	………男性 白石 徳美 35打
	女性 鬼海 英子 43打
3 位	………男性 鬼海 愛寛 36打
	女性 野口 真澄 44打
二アピン賞	………男性 浜崎 久義
	女性 白石 宣子

下田南地区自主防災会

10月10日(月)に下田南地区自主防災会による避難訓練を実施しました。

午前7時30分に訓練放送、サイレン吹鳴、避難場所は旧下田南小学校です。午前8時までに、住民約170人中、約100名の方が避難して来られました。避難の速さと関心の深さに驚きました。その後、天草西消防署員の方に負傷者の応急担架の作り方、搬送方法、二人での搬送方法、消火器の操作方法等を学びました。沢山の質問も出ました。

地震の予測は困難ですが、津波、台風、大雨はある程度予測が出来ます。まず、自分の生命は自分で守る(自助)という意識と行動、避難準備情報が発令されたら、避難に時間がかかる人は特に、早めに避難する等の心がけが大切ではないでしょうか。

【防災班長 中村昭廣】

